

2011年 5 月 6 日

報道関係者各位

ガルデルマ株式会社
塩野義製薬株式会社

尋常性ざ瘡（ニキビ）疾患啓発キャンペーン 2011年5月9日（月）からTV-CM 放映開始

ガルデルマ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：ウンベルト・C・アントゥネス）と塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功）は、昨年に引き続き、本年も尋常性ざ瘡（ニキビ）の疾患啓発キャンペーンを2011年5月から開始します。昨年5月21日に登録された「ニキビの日」に先立ち、5月9日よりTV-CMを放映します。

ニキビは多くの方が経験する皮膚疾患で、主に顔面に現れ、痕（あと）が残ることもあるなど、患者さまのQOL（Quality of Life、生活の質）に大きな影響を及ぼす疾患であるにもかかわらず、その対処はスキンケア、一般用医薬品による治療など、患者さまご自身の判断に委ねられることが多く、皮膚科で治療すべき疾患としての認知が、患者さまに十分に浸透しているとはいえない状況です。

こういった背景を踏まえ、昨年より両社は、ニキビに罹患した患者さまに正しい情報を伝え、一人で悩まず、自己対処で済ませずに積極的に皮膚科医による治療を受けて、QOL をより向上していただくため、啓発活動に取り組んで参りました。

キャンペーンのイメージキャラクターには、昨年に引き続き、タレントの柳原可奈子さんを起用し、新TV-CM「ニキビ都市伝説」篇（15秒）を、5月9日から放映します。「ニキビは自分でつぶすと早く治る」という「都市伝説」とも言える、ニキビ治療に対する誤解を解消し、「お医者さんでしっかり治療しよう」、「ニキビは皮膚科へ」、「健康保険等が使えます」をメッセージとして、皮膚科医によるニキビ治療を受けることでQOL向上が可能であることを発信してまいります。

【ニキビ疾患啓発キャンペーン 新TV-CM「ニキビ都市伝説」篇】



【尋常性ざ瘡(ニキビ)治療剤「ディフェリン®ゲル 0.1%】

ガルデルマ株式会社は、2008年7月16日、有効成分アダパレンを含有する外用尋常性ざ瘡(ニキビ)治療剤「ディフェリン®ゲル 0.1%」の製造販売承認を取得しました。本剤は、発売より8年間、塩野義製薬が独占販売権を保持しています。

アダパレンが表皮細胞の核内レチノイン酸受容体(RAR: Retinoic Acid Receptor)に結合し、毛包上皮細胞の分化を抑制することで、ニキビの前段階である微小面皰と非炎症性皮疹(面皰:通称黒ニキビ、白ニキビ)の形成を抑制し、減少させ、その後進展してできる炎症性皮疹(通称赤いニキビ)も減少させます。

本剤は、日本で初めて承認された尋常性ざ瘡を適応とする外用レチノイド製剤で、欧米に比べ遅れていたニキビ治療と同水準の治療を提供できる医薬品として注目を集めています。また、2008年9月に財団法人日本皮膚科学会より発表された「尋常性痤瘡治療ガイドライン」において、尋常性ざ瘡治療の推奨度 A(行うよう強く推奨する)の薬剤として記載されています。

【ニキビの日、5月21日について】

ニキビは長い間「青春のシンボル」として捉えられ、皮膚の慢性疾患としての認識が低いものでした。しかし、ニキビは顔にできることが多いため、悩む人は多くいます。「ニキビは皮膚科で治療すべき疾患であること」を認知いただくため、2010年より5月21日を「ニキビの日」としました。「5(いつも)2(にきびは)1(ひふかへ)」= “いつもニキビは皮膚科へ” の語呂あわせです(英語では ACNE DAY)。

＜お問い合わせ先＞

ガルデルマ株式会社
マーケティング本部
TEL:03-5229-6955
FAX:03-5229-6903

塩野義製薬株式会社
広報部
大阪 TEL:06-6209-7885
FAX:06-6229-9596
東京 TEL:03-3406-8164
FAX:03-3406-8099